

●課題別審査の観点（参考）

①課題1「軒先マワリ詳細図」

- ア. 図が正確に描かれているか。（部材の大きさや厚み・金物等の形状・部材相互の距離等）
- イ. 明瞭な図であるか。（線の使い分け・線の始端から終端までが均一な太さ、濃さであるか）
- ウ. 文字や数字は明瞭で正確であるか。（抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等）
- エ. その他
 - 松丸太に関して
 - ・太鼓落しを表現する曲線はフリーハンドより定規使用の方が良い。
 - ※ただし曲線がフリーハンドで描かれていても失格ではない。
 - 野縁に関して
 - ・位置は軒桁中心から測られているか。
 - 天井に関して
 - ・位置が製図例2-6に基づいているか。
 - 線の使い方に関して
 - ・下書き線が濃すぎないか。
 - ・仕上げ線（断面線）が極端に太すぎないか。

②課題2「木造平家建専用住宅」

- ア. 平面図・立面図・断面図が正確に描かれているか。（教科書3章に準じているか）
- イ. 外構計画に工夫があるか。
- ウ. 文字や数字は明瞭で正確であるか。（抜けている、大きすぎる、小さすぎる、形状がバラバラ等）
- エ. 図面相互にくい違いがないか。
- オ. 明瞭な図であるか。（線の使い分けが正しいか）
- カ. 製図規約を重視しているか。
- キ. その他
 - 配置図兼平面図に関して
 - ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
 - ・隣地境界線を実線で描く等、線の使い方を間違えていないか。
 - ・床の仕上げを表現していないか。
 - 立面図に関して
 - ・全体的なバランスが良いか。
 - 断面図に関して
 - ・平面図に記された切断線の位置とのくい違いがないか。

③課題3「木造2階建専用住宅」

- ア. 計画性を重視する。
- イ. 配置・平面・立面・断面・外構の計画に工夫があり機能的であるか。
- ウ. 構造的に無理がないか。
- エ. 製図規約に配慮しているか。
- オ. その他
 - 設計主旨に関して
 - ・主旨と計画にくい違いがないか。
 - 配置図兼平面図に関して

- ・道路境界線、隣地境界線と建物の距離が抜けていないか。
- ・家族構成に対して、所要室や各室の面積に配慮しているか。
- ・将来的に高齢者に配慮した計画であるか。
- ・外構計画において高低差に配慮しているか。
- ・車と駐車スペースの大きさや表記方法に間違いがないか。
- ・平面図に家具が記入されているか。
- ・平面図に柱や通し柱が抜けていないか。
- ・平面図に記された階段の段数は正確か。
- ・平面図に記された階段には、手すりを設けているか。
- 立面図に関して
 - ・平面図とのくい違いがないか。
 - ・全体的なバランスが良いか。
- 断面図に関して
 - ・切断位置が開口部を含む位置であるか。
 - ・形状が不適切でないか。（異常に高すぎる、低すぎる）
 - ・高さに関する寸法の記入があるか。

④課題4「木造平家建専用住宅」(CAD製図)

注意：2枚提出されているか。（1枚しか提出されていない場合は失格とする）

- ア. 敷地の形状や配置・外構計画に工夫があるか。
- イ. 平面図は正確に描かれているか。（教科書第3章に準じているか）
- ウ. 立面図に工夫があるか。（窓の形状や種類、位置等が平面図と異なっていないか）
- エ. 断面図に工夫があるか。（屋根形状を生かした内部空間であるか）
- オ. 屋根の形状に工夫があるか。（機能を充たす屋根の形状であるか）
- カ. 図面相互にくい違いがないか。
- キ. 明瞭な図であるか。（線の使い分けが正しいか）
- ク. 製図規約を重視しているか。
- ケ. その他
 - ・ロフトを計画した場合は、それを平面図や断面図等に描いているか。
 - ・手書き表現で描かれているか。（CAD特有の表現のままでないか）

⑤課題5「木造2階建専用住宅」(プレゼンテーション作品)

注意：2枚提出されているか。（1枚しか提出されていない場合は失格とする）

- ア. プレゼンテーション・表現を重視する。（プレゼンテーションとつくりだされている作品が一致しているか）
 - ・パース、模型、説明、着色等で判断する。
- イ. 製図規約については重視しない。
- ウ. その他
 - ・計画や表現はオリジナリティがあるか。
 - ・各図面間での整合性はあるか。
 - ・縮尺については重視しない。
 - ・表面に氏名等を記入しない。